(N01)

行政視察報告書

令和6年 10月31日

長浜市議会議長　高山　亨　様

長浜市議会議員　千　田 貞　之[redacted]

私が参加した次の行政視察の結果について報告します。

記

1．　視察等名　「恵風会、行政視察」

2．　視察日時　令和6年10月7日（月）～9日（水）

3．視察先及び目的

①「利府町まち・ひと・しごと創造ステーションについて」
宮城県宮城郡利府町　まち・ひと・しごと創造ステーション tsumiki

②「災害の伝承」について
大川震災伝承館・南三陸311メモリアル
宮城県石巻市・本吉郡南三陸町

③「南三陸病院」について
南三陸町役場

④「文化遺産の継承」について
道の駅平泉世界遺産ガイダンスセンター・平泉文化遺産センター
岩手県西磐井郡平泉町

4．調査内容感想等

①「利府町まち・ひと・しごと創造ステーション」について
ワークスペースとして、カフェとして、企業、創業などの相談場所、個人、団体を問わずだれでも使用することができる空間。
他にも交流、物販ここから始める起業支援など、本市での「えきまちテラス」とも共通する施設。　移住、定住など国の総合戦略に則り更に宮城大学の協力も仰ぎ利府町の活性化をまちへの愛着、まちづくりを目指し、ワークショップ、ソフト事業、ハード事業がすすめられた。　事業費の6,800万円を半分づつソフト事業、ハード事業に分

けられた。駅前の活性化、回遊性を重視し活用されている

②「災害の伝承」ということで震災遺構の大川小学校、北上川河口から約3，7キロ右岸堤防から約200メートルで高さ13メートルもの巨大津波で鉄骨つくりの渡り廊下も捻じ曲げられた。想像できない有様をみて、信じられないことを感じることの恐怖を感じました。

③「南三陸病院」について　震災後、高台に建設された南三陸町役場、隣接する南三陸病院ともに地域住民の利便性、健康福祉のため建設された。北上川の近くにあった旧町役場は今はないが、旧防災庁舎は震災遺構として現在も骨組みだけの躯体を残し、周辺は震災復興記念公園として後世に伝えている。その被災状況を南三陸３１１メモリアルで見ることができる。
南三陸病院は、台湾からの援助により整備され、病院内に保健福祉課、環境対策課、上下水道事業所も併設されている。

④「文化遺産の継承」について
道の駅平泉世界遺産ガイダンスセンター・平泉文化遺産センター
道の駅と隣接する岩手県立で運営されているセンターを見学した。
観光客は少ないものの、展示施設は、映像など興味深くつくられていた。更に、平泉町には、町営の施設もありそこは無料で見学できる

・研修の目的

① 利府町の「tsumiki」を利用して先にも記述した各種の目的に沿う活動を通してまちの活性化を図っている。　利府町の若者の活動が将来の利府町民の拠り所となる手法を学ぶ。　仙台市のベッドタウンとして栄え、高齢化率も25%と若者の定着率も高い地域の状況を知る。

② 東日本震災後の「災害の伝承」をされている南三陸地域の現状を知ること

③ 巨大津波を受け、新たに高台に建設された南三陸町役場と南三陸病院の現状を知ること

④ 「文化遺産の継承」について　道の駅、世界遺産のガイダンスセンター

を見学して、展示などを研修する

・研修の内容

① 利府町のまちづくり、tsumiki の利用を通じて小商いなどの経験をふまえ企業や、若者の成長を後押ししている活動を役場職員や委託されている委託先より状況を学ぶ。

② 東日本震災後の「災害の伝承」をされている南三陸地域の現状を知ること

③ 震災前には、公立志津川病院で入院患者 107 人のうち 72 人が死亡・行方不明となり、看護師、看護助手 3 人も犠牲になった。
病院施設も免震構造、耐震構造にされていることを学ぶ。

④ 「文化遺産の継承」について、道の駅、世界遺産のガイダンスセンターを見学、施設の見せ方を学ぶ

・研修の結果を本市にどのように反映させるか

① 利府町の tsumiki の施設は、コンテナハウスを建設しハード事業に補助金の半分を投資し、残りをソフト事業に使って無駄をなくしている。このように箱もの行政ではなく、実を取る政策は学ぶべきである。
小商い事業や、たまり場的な活用は理想的に利用されている。移住、定住の先駆的な取り組みがされている。　入りやすく、利用しやすい環境はすばらしい。

② 東日本の震災後の「災害の伝承」については、後世に津波被害を残す施設として、十分であると思いました。想像を絶する遺構をみることで学べると思います。　偶然にも広島県の高校生の修学旅行も来られていました。本市でも災害があればその遺構を展示することは必要だと思います。

③ 大津波を受けた、町役場と病院を高台に再興されほぼ完全復活していま

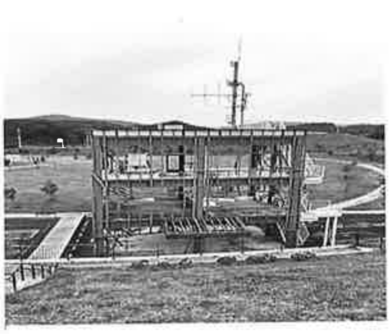
した。　交通手段としてシャトル巡回バスのも随時運行されていました。町役場と病院が隣接され、病院内に総合ケアセンターとして「保健福祉課」地域包括支援センター、「環境対策課」もあり更に上下水道事業所も併設されていた。　病院は台湾政府からの支援金も活用され地域医療の大切さを知らされた。

④　「文化遺産の継承」世界遺産のガイダンスセンターが岩手県立の施設として道の駅に隣接して建設されていた。　へき地と思われる土地に、又、案内表示も少ない中で、立派な施設があり、展示の仕方も優れていました。小谷戦国ミュージアムでも展示の手法を学ぶことはあると思います。過去の時代に引き込まれるような表現方法は十分参考になると思います。

利府町　tsumiki

岩手県立　平泉
世界ガイダンスセンター

南三陸町震災復興記念公園



震災遺構　記念公園内
旧南三陸町防災庁舎